

令和2年8月26日

関係各位

東京新大学野球連盟会長
内藤 高雄

2020年度東京新大学野球秋季リーグ戦の開催について

この度の新型コロナウイルスに罹患された方々には心からお見舞い申し上げるとともに、感染予防や治療に尽力されている皆様には安全に留意され、ご活躍されることをお祈りいたします。

さて、東京新大学野球連盟では、秋季リーグ戦を来る9月2日に開幕できるよう、準備を進めてきました。しかしながらいったん沈静化するかに見えた新型コロナウイルス感染症は、今また東京を中心に拡大傾向にあり、全く先の見えない状況になってきております。現在の当連盟、並びに大学野球を取り巻く状況は、以下の通りです。

- 1) プロ野球は6月から、センバツ高校野球の代替交流試合は8月に、そして各都道府県高校野球独自大会が7月～8月にかけて、それぞれ万全の感染防止対策を施したうえで開催されている
- 2) 一方で、ほとんどの大学では後期も一部で対面授業を実施するものの多くの科目をオンラインによる遠隔授業にすること、あるいは遠隔授業の全面実施が計画・発表されている
- 3) 当連盟加盟大学については、8月23日現在、1部リーグ所属6大学は感染症対策を行ったうえで、通常通り練習を行っているが、2部～4部に所属する大学については、ほとんどの大学でクラブ活動が停止され、通常通りの活動をしている大学は1校だけである

以上の状況を考慮し、当連盟としましては、2020年秋季リーグ戦につきまして、以下のよう
な決定致しました。

- 1) 1部リーグについては、万全の新型コロナ感染防止対策を徹底し、予定通り9月2日に開幕、勝ち点制で実施する。ただし、感染拡大等により、リーグ戦実施が困難な状況になった場合は、リーグ戦を打ち切り、中止とする。
- 2) 2部～4部については、活動停止中の大学がほとんどであると同時に、試合会場（大学球場）が確保できず、リーグ運営が困難であるため、大変残念ではあるが、リーグ戦開催を断念し、併せて入れ替え戦も実施しない。

ただし、10月中旬以降に交流トーナメント大会を開催する。このトーナメントは、10月初旬に参加校を募り、開催するが、参加校が極端に少ない場合は、一部リーグのBチームも参加可能とし、交流トーナメント大会を開催する。

- 3) 1部のリーグ戦開催にあたり、各球場の新型コロナ感防止対策を確認し、ホームページ上で案内する。連盟としては父母、学校関係者、OB、プロ野球・アマチュア野球のスカウト、報道関係者の観戦を、事前に各大学を通して連盟に申請することで許可していく方針ではあるが、具体的対応は各球場と交渉して決定する。
- 4) 1部リーグ戦開催中に、野球部関係者に新型コロナの感染者が出たチームについては、状況を速やかに、連盟に報告し指示を仰ぐこととし、その週のリーグ戦を辞退する。その際は、不戦敗を記録する。

もちろん当連盟が最も重要視すべきことは、何よりも選手やリーグ戦運営スタッフの学生たちの命の安全と健康であることに間違いはありません。しかしながら、毎日真摯に練習に汗を流してきた学生、とりわけ本年が学生野球最後の年である4年生のことを考え、ぎりぎりの決断をさせていただきました。

また、当連盟のリーグ戦開催にご理解を示され、試合会場を提供くださる球場および市町村関係者の皆様には心より御礼申し上げます。